

世界史 B 確認テスト NO1

15 世紀のヨーロッパでは、(1) が著した「世界の記述」に刺激を受けてアジアへの関心が高まる一方、(2) の改良や快速帆船の普及など、技術が進歩した。そして、莫大な富をもたらす金や(3) を求めて、大航海時代が始まった。

まず、航海に乗り出したのはポルトガルであった。ポルトガルではエンリケ航海王子など、王室がアジア航路の開拓に(4 消極的 ・ 積極的) であった。その結果、1488 年にはバルトロメウ＝ディアスが(5) 大陸南端の(6) に到達した。さらに 1498 年にはヴァスコ＝ダ＝ガマが(7 中国 ・ インド) の(8) に到着した。こうしてポルトガルがアジア航路を発見した結果、首都(9) は世界商業の中心として繁栄した。

ポルトガルより海外進出がおくれたスペインでは、女王の(10) がコロンブスを援助した。彼は(11) の唱えた地球球体説を信じ、航路をヨーロッパから見て航路を(12 西 ・ 東) にとり、ついに(13) 島に到着し、ついで新大陸を発見した。ただ彼は発見した大陸をアジアだと思い込んでいた。このため、この大陸の先住民は(14) と呼ばれるようになった。その後、この大陸がヨーロッパ人の知らない新たな大陸と確認したのが、(15) であった。

マゼランもまた有名なスペインの探検家である。彼の一行は南アメリカ大陸の南端をまわって、(16 大西洋 ・ 太平洋) を横断しアジアに到達した。彼自身は現在の(17) で死亡したが、部下は世界一周を達成した。スペインは発見した新大陸に(18) と呼ばれた征服者を派遣した。(19) は(20 トウモロコシ ・ ブドウ) の原産地である北米のアステカ王国を征服した。また、南米のインカ帝国もスペインに滅ぼされたが、現在世界遺産に登録されている(21) はスペインの破壊をまぬがれたインカ帝国の都市であった。スペインは新大陸征服後、さらに先住民を使って鉱山開発などを行い、過酷な労働を強制した。(22) のように先住民の救済に努めた人物もいたが、先住民の人口は激減した。

一方、ポルトガルやスペインの海外進出はヨーロッパ本土にも大きな影響を与えた。貿易の中心は地中海沿岸から大西洋沿岸に変わった。また、銀の流入によってヨーロッパの物価が上昇したが、この現象は(23 価格 ・ 商業) 革命と呼ばれた。

※ (20) はタペストリーの P157 を参照

評価

年 組 番

(不正解 1 個まで A、3 個まで B、以下 C)

